

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	573 登記事務事業					
予算科目	01-080101-13 登記事務に要する経費			担当部課	建設部道路整備課	
市長公約				係名	道路用地係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	不動産登記法			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民等
目的	道路拡幅業務に伴う用地買収、未登記処理等の様々な登記を行う。
概要 (取組内容)	取得した道路用地の登記処理（分筆、所有権移転、地目変更等）を行う。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	7,909	7,624	7,969	8,562	8,562	
	決算額	(千円)	6,937	7,148	7,500	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	6,937	7,148	7,500	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,599	7,572	6,995	6,995	6,995	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.80	1.10	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	54.30	33.12	36.20	36.20	36.20
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	嘱託登記申請数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	488.0	507.0	360.0	374.0	329.0	0.0
指標の概要	分筆・所有権移転・その他登記の申請数の合計とする。						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	用地買収に要する幅広い知識習得のため、民事関連法令、登記、税務に関する研修等に参加した。令和5年度中登記件数329件中16筆の調査・測量、16筆の分筆・所有権移転登記を行った。また、6筆の賃貸借の解消を行った。
成果	工事施工前に25路線中15路線について、所有権移転及び物件移転が完了したため、工事着手できる状況を提供できた。しかし、6路線については、用地買収は完了しているが地権者との調整に時間を要し年度内の登記未了もしくは物件移転が翌年度に繰り越すこととなった。また、相続等の調整がつかず用地取得が完していない路線があった。
課題	業務 用地買収着工前に登記情報または相続の状況の要確認、および、補償対象物件に関する地権者との調整を行う必要がある。 引き続き賃借地の解消に努める必要がある。
	組織、予算等 用地取得・補償から登記まで、専門性を要し、かつ、幅広い知識の習得が必要である。
改善目標	綿密な事前調査と関連部署との用地買収前段の課題解消を図り、円滑な用地買収に努める。民法および不動産登記法に関する係内の業務知識の底上げを図る。未登記案件の適切な処理。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	578 道路新設改良事業					
予算科目	01-080202-11 道路新設改良に要する経費			担当部課	建設部道路整備課	
市長公約				係名	工務係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	道路法 等			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民等
目的	未改良の生活道路を改良し、道路としての機能を高め、道路網の整備を図ることにより市域の土地利用、経済活動を活性化し、地域社会の環境を改善する。
概要 (取組内容)	地元要望を踏まえ、必要性の評価、優先順位が整理された生活道路について、拡幅等の整備を行う。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	827,955	806,449	996,044	1,140,557	985,084	
	決算額	(千円)	554,636	610,357	780,824	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	99,183	91,668	126,253	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	455,453	518,689	654,571	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0	0	
人件費	人件費計	(千円)	45,673	45,446	52,720	55,483	55,483	
	内訳	正職員従事割合	(人)	6.40	6.30	7.20	7.60	7.60
		正職員時間外勤務	(時間)	796.90	1,040.07	1,234.20	1,234.20	1,234.20
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	市道の改良率 (%)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	58.7	59.2	59.4	59.6	59.9	0.0
指標の概要	市道の総延長に対し、道路の規格を改良した割合						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度以上の予算を確保し、概ね計画通り事業を実施した。 ・早期発注や関係機関協議等を丁寧に実施したことで、前年度と比較し、繰越事業を削減することができた。 	
成果	計画的に道路改良事業を実施することにより、安全かつ円滑な交通を確保することができた。	
課題	業務	早期発注や発注前の事前調整を積極的に行ったものの、依然、一部の事業が繰越となっている。
	組織、予算等	数多くの地元要望がある中で、安定的に予算を確保し、計画的に整備を進めていく必要がある。
改善目標	さらなる繰越事業の削減に向け、発注前の事前調整のみならず、契約後に発生する突発的な調整等にも迅速かつ丁寧に対応していく。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	579 緊急地方道整備事業					
予算科目	01-080203-11 緊急地方道整備に要する経費			担当部課	建設部道路整備課	
市長公約				係名	工務係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	道路法等			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民等
目的	交通量の分散化や市全体の経済活動、地域活動を活性化するため、国、県の補助事業を活用し、市内幹線道路の整備を行い、道路網の確立を図る。
概要 (取組内容)	現一級幹線市道を一般県道館野牛久線から国道408号まで延伸整備する事業。 ・市道1-71号線整備事業 L=852m

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	44,726	85,688	112,214	140,088	0	
	決算額	(千円)	2,488	51,429	36,305	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	2,488	5,557	5,876	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	45,872	30,429	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,214	4,358	3,731	3,731	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.60	0.60	0.50	0.50	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	46.80	111.25	113.90	113.90	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	改良整備率 (%)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	60.0	60.0	60.0	70.0	90.0	100.0
	実績	58.0	58.0	58.0	58.0	58.0	0.0
指標の概要	市道1-71号線の総延長に対し改良した割合						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	財源となる補助金の計画的確保が可能となるよう、茨城県と協議・調整を行った。 未確定であった残土受け入れ先を確定するために、関係機関との事前協議を速やかに実施した。	
成果	茨城県との協議・調整を行った結果、財源となる補助金を計画通り確保し、工事発注を行うことができた。 。残土搬出先については、速やかに関係機関と協議を進めたことで受け入れ先を確保することができ、繰越事業とはなったものの円滑に事業を進めることができた。	
課題	業務	次年度予定している2箇所の交差点改良工事の発注に向け、公安委員会等との事前協議を計画的に行う必要がある。
	組織、予算等	財源である補助金の確保が課題である。
改善目標	計画的に関係機関協議を進め、早期の全線供用開始を目指す。 引き続き、茨城県と協議を進め、補助金の計画的な確保に努める。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	580 河川整備事業					
予算科目	01-080301-12 河川整備に要する経費			担当部課	建設部道路整備課	
市長公約				係名	工務係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	河川法			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民等
目的	台風・大雨等による河川の氾濫を最小限に抑えるために、河川改修等の整備を行う。
概要 (取組内容)	集中豪雨、台風等による河川の氾濫に対し、安全性を向上させるため、護岸等の整備を進める。 ・八幡川河川改修事業 L=1,100m

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	130,894	35,775	55,560	74,050	60,440	
	決算額	(千円)	109,887	33,341	26,928	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	19,487	8,741	6,828	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	90,400	24,600	20,100	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,653	2,179	1,523	2,213	2,213	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.30	0.20	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	97.10	55.32	57.90	57.90	57.90
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	河川の改修整備率 (%)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	9.0	9.0	18.0	25.0	33.0	42.0
	実績	9.0	9.0	18.0	25.0	33.0	0.0
	指標の概要	八幡川河川の未改修区間の整備率					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に予算を確保し、河川改修工事を進めた。 ・今後、移設が必要となる農業用パイプラインについて、施設管理者と設計協議等を進めた。 	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・河川改修工事を計画的に進めたことにより、河川の氾濫や増水に対する安全性を高めた。 ・移設対象となる、農業用パイプラインの施設管理者と具体的な設計協議を行い、移設計画を立案することができた。 	
課題	業務	<ul style="list-style-type: none"> ・近年の異常気象等による河川の氾濫等により、護岸の破損等が懸念されるため、早急な対応が必要。 ・今後、農業用パイプラインや下水道の移設、橋梁架け替え等の関連事業を河川改修と同時に進めていく必要があるため、協議・調整は可能な限り前倒しで実施していく必要がある。
	組織、予算等	災害予防の観点から、早急に事業を進める必要があり、計画的な予算確保が必要。
改善目標	今後、整備計画に影響が予想される関係機関との協議を早急に進める。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	582 街路整備事業					
予算科目	01-080402-11 街路整備に要する経費			担当部課	建設部道路整備課	
市長公約	45			係名	街路係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	道路法			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民等
目的	市民が快適で安全・安心な住環境及び交通環境を確保するため、都市基盤の整備を図る。
概要 (取組内容)	都市再生整備計画に基づき、歩行者通行帯及び電線共同溝の整備を行う。また、防災安全交付金事業による通学路整備として、歩行者通行帯の整備を行う。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	679,517	579,282	429,444	446,174	476,410	
	決算額	(千円)	411,624	552,096	388,478	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	29,572	86,483	43,508	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	382,052	465,613	344,970	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	13,067	12,894	23,058	23,058	23,058	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.80	1.80	3.20	3.20	3.20
		正職員時間外勤務	(時間)	315.10	260.07	394.60	394.60	394.60
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	街路灯設置工事の整備延長 (m)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	921.0	1,836.0	316.2	0.0	0.0	0.0
	実績	1,387.6	1,467.0	316.2	0.0	0.0	0.0
指標の概要	つくば駅周辺の中心市街地について、街路灯設置工事は令和3年度に完了している。						

2	指標名	側溝入替工事の整備延長 (m)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1,626.0	604.0	1,409.0	2,350.0	1,550.0	1,877.0
	実績	696.2	931.0	1,249.0	2,404.0	1,394.2	0.0
	指標の概要	数値は側溝入換の延長					
3	指標名	自転車通行帯整備工事の整備延長 (m)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	1,723.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	1,723.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	つくば駅周辺の中心市街地について、自転車通行帯整備は令和2年度に完了しており、今後は現在策定中の自転車ネットワーク計画に基づき、周辺の整備を検討していく。					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	歩行者通行帯整備について、今年度は「通学路安全プログラム」に位置付けられている路線に加えて、都市計画区域内の路線についても補助金を活用し、整備を行った。	
成果	歩行者通行帯設置を実施し、安心安全な住環境及び交通環境が整備された。	
課題	業務	歩行者通行帯について、未着手の地区に関しても整備の検討を行う必要がある。
	組織、予算等	歩行者通行帯については、補助金を活用し事業を推進しており、補助金の内示額により事業規模が左右されるが、各工事の規模を調整し、年度内での適正工期を確保する必要がある。
改善目標	歩行者通行帯について、未着手の地区も測量設計等を行い計画的に整備を推進するとともに、各工事の規模を年度内での適正工期を確保できるよう調整し、繰越を回避する。 また、自転車レーンについては、関係各課と整備路線の検討をしていく。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	584 上河原崎・中西地区スマートIC設置事業（（仮称）つくばスマートIC）					
予算科目	01-080412-11 圏央道推進に要する経費			担当部課	建設部道路整備課	
市長公約				係名	事業調整係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	期間限定複数年度	
根拠法令等	道路法等			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民等
目的	つくばエクスプレス沿線開発の土地区画整理事業を含む地域の活性化、つくば市整備地域における企業活動の活性化、高速道路利用圏域の拡大、観光振興の支援及び災害時における防災機能の強化を図る。
概要 (取組内容)	（仮称）つくばスマートICは、平成29年7月に新規事業化箇所を選定後、東日本高速道路株式会社（ネクスコ東日本）と基本協定を締結し、国や茨城県と連携しながら早期の供用開始に向けて事業を進めている。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	275,761	664,230	409,466	354,381	10,000	
	決算額	(千円)	105,936	568,168	171,469	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	12,304	349,668	12,069	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	92,015	218,500	159,400	0	0
		その他	(千円)	1,617	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	14,713	14,713	10,104	10,104	10,104	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2.10	2.10	1.40	1.40	1.40
		正職員時間外勤務	(時間)	148.70	168.42	179.20	179.20	179.20
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

指標名	事業進捗率（R3事業費見直しに伴い指標2へ移行）					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	
1	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	17.7	32.3	0.0	0.0	0.0
指標の概要	市の負担する計画時点の事業費に対し、支出した割合⇒事業費795,600千円（支出額 H29：6,381千円※R3修正、H30：32,280千円※R3修正、R1：102,493千円、R2：116,220千円）					

2	指標名	事業進捗率 (R5事業費見直しに伴い指標3へ移行) (%)					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	25.8	66.1	0.0	0.0
	指標の概要	市の負担する計画時点の事業費に対し、支出した割合⇒事業費1,410,000千円 (支出額 H29:6,381千円、H30:32,280千円、R1:102,493千円、R2:116,220千円、R3:105,936千円、R4:568,168千円)					
3	指標名	事業進捗率 (R5事業費見直し後) (%)					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	76.1	0.0
	指標の概要	市の負担する計画時点の事業費に対し、支出した割合⇒事業費1,450,000千円 (支出額 H29-R4:931,478千円、R5:171,469千円)					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	以下、前年度の課題について、ネクスコ東日本、茨城県と協議を重ねた。 ・一般道交差点改良工事着工後の工程管理や施工方法の調整 ・案内標識設置工事の着工に向けた施工方法等の調整					
成果	・圏央道本線部北側は、切盛土工を終えて、舗装工事や施設関連工事に着手した。 ・一般道交差点改良工事 (2箇所※) の工事に着手し、北側の交差点改良箇所は工事が完了した。 ※県道土浦坂東線 (北側) 主要地方道つくば真岡線 (南側) ・案内標識の設置に係る関係機関との協議により生じた修正設計業務を完了させた。					
課題	業務	・一般交差点改良工事 (南側) の施工区域は、関係機関が施工する工事と錯綜しているため、引き続き関係機関と連携した工程管理が必要。 ・供用開始後の市道部の維持管理協定等に係る協議をネクスコ東日本と引き続き進めていく。				
	組織、予算等					
改善目標	市直営工事の工程やスマートIC供用開始後の維持管理協定等について、引き続きネクスコ東日本や茨城県と協議調整を図り、スマートIC設置事業を円滑に進めていく。					

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続	
理由	-	